

(新)豊かさを実感できる海の再生事業 要望枠

540百万円(0百万円)

水・大気環境局水環境課閉鎖性海域対策室

1．事業の必要性・概要

閉鎖性海域は、陸域における汚濁負荷削減の取組により、水質面で一定の改善が認められつつあるが、年によって大規模な赤潮による漁業被害が発生する海域が未だに存在し、また一方で、水産資源の減少やノリの色落ちが指摘される海域があるなど、生物多様性、生物生産性等の側面を含め、全体としてその豊かさを安定的に実感できるまでには回復していない。

このため、地域と海との関わりによる里海づくりの導入・普及促進による環境改善を進めるとともに、大規模赤潮発生の機構解明、効果的な水質総量の削減・管理を実施することにより、豊かさを実感できる海の再生を図る。

特に、東日本大震災の被災地においては、地域の人々の生活や産業が海と深く関わって成り立っており、巨大津波により大打撃を受けた被災地の復興のため、豊かな海の回復に向けた取組を推進する。

2．事業計画（事業内容）

(1) 里海復興支援事業

被災地に存在する閉鎖性海域のうち、陸域からの負荷が大きい主要海域を対象に、地域の要望を反映した里海復興プランを策定するとともに、同プランに基づき地域が連携して行う、人の手による豊かな海への再生の取組に対し支援を行う。

(2) 持続可能な里海づくり促進事業

人の手で適切に管理されることにより生物生産性を高め、豊かな生態系保全に効果をあげている「里海」づくりを促進させるため、モデル地域における取組効果を実証、“見える”化するとともに、各地域の取組の全国ネットワークの構築を行う。

(3) 効果的な水質総量削減・管理方策の確立に向けた検討

昭和54年度から実施してきた水質総量削減について、その取組の進展が見られる海域において、汚濁負荷量の「適正管理」の視点から、場所や季節に対応したきめ細かな管理方策の確立に向けた検討を行う。

(4) 赤潮被害発生海域における環境変化機構解明調査

大規模赤潮による漁業被害発生海域について、赤潮発生の端緒となる環境悪化を迅速かつ的確に把握し、機構解明を行う。

事業年度：平成24年度～平成26年度

3．施策の効果

- 被災地の閉鎖性海域において、早期に自然浄化機能の回復などの対策を講じることにより、大規模赤潮の発生や魚介類の大量へい死、悪臭等の被災地の復興への支障となる障害の発生を未然に防止し、豊かな海を回復することができる。
- 汚濁負荷量のきめ細かな管理、地域主体の里海づくりの取組の普及、新たな知見を踏まえた効果的な対策の実施等により、それぞれの海域の特性に応じ、豊かな生態系が保たれ、生物生産性も持続的に確保された豊かさを実感できる海を再生することができる。

豊かさを実感できる海の再生事業

平成24年度 540百万円

地域と海との関わりによる里海づくりの導入・普及促進による環境改善を進めるとともに、大規模赤潮発生の機構解明、効果的な水質総量の削減・管理を実施することにより、豊かさを実感できる海の再生を図る。
特に、東日本大震災の被災地においては、地域の人々の生活や産業が海と深く関わって成り立っており、巨大津波により大打撃を受けた被災地の復興のため、豊かな海の回復に向けた取組を推進する。

閉鎖性海域の水質は一定の改善が見られるものの、海が有する豊かさを感じられるまでには至っていない海域がまだまだ多い。

- ・赤潮、貧酸素水塊の発生
- ・大規模な漁業被害の発生
- ・水産資源の減少、海苔の色落ち
- ・国民の海への関心の低迷

海が豊かであった東北地方太平洋岸の閉鎖性海域が東日本大震災により大打撃

- ・産業再生と水質保全の両立
- ・損なわれた生物生産性の回復

持続可能な里海づくり促進事業

～ 海とふれあい恵みを実感 ～

人の手で適切に管理されることにより生物生産性を高め、豊かな生態系保全に効果をあげている「里海」づくりを促進させるため、モデル地域における取組効果を実証、“見える化”するとともに、各地域の取組の全国ネットワークを構築

里海復興支援事業

～ 豊かな三陸の海を復活 ～

被災地に存在する主要閉鎖性海域を対象に、地域の要望を反映した里海復興プランを策定するとともに、同プランに基づき地域が連携して行う人の手による再生の取組を支援

赤潮被害発生海域における 環境変化機構解明調査

～ 赤潮被害のない海へ ～

大規模赤潮による漁業被害発生海域について、赤潮発生機構解明に向け、赤潮発生の端緒となる環境悪化を迅速かつ的確に把握

効果的な水質総量削減・管理方策の 確立に向けた検討

～ 地域に応じた豊かさアップ ～

水質総量削減の取組の進展が見られる海域において、汚濁負荷量の「適正管理」の視点から、場所や季節に対応したきめ細かな管理方策の検討を実施。

地域の特性に応じ、豊かな生態系、生物生産性が確保された、豊かさを実感できる海を再生